

第3期（令和6年度）事業報告書

特定非営利活動法人イノベーション創薬研究所

1 事業の成果

創設3年目となった令和6年度の活動として、令和5年度に開始した「医学・薬学研究に対する助成・褒賞」事業 IDDI Outstanding Basic and Applied neuroscience Talent Award（IDDI 小幡賞）の第2回目を実施し、昨年同様、未来社会に向けた独創的な神経科学の研究テーマで若手研究者を対象として公募を行った。IDDI として具体的な活動としては、賞選考委員会の実施、公募要項の作製、関連学会での宣伝、第1次書類選考、ファイナリストの決定、最終選考会開催準備、最終選考会開催、受賞者の決定、表彰ならびに褒賞の授与と多岐にわたる。さらに、採点結果管理などの責任体制を充実するために、昨年から設置している賞選考委員会（〃〃〃〃〃〃・理化学研究所）のもとに、審査委員会を設置した。審査委員会の業務は、審査員への審査依頼、審査結果の集計、賞選考委員会ならびに理事会への報告などである。委員長には昨年の審査員の中から〃〃〃〃〃〃（東京薬科大学）が選出された。公募は、ホームページや SNS を用いて幅広く応募を呼び掛けた結果、応募倍率は3.4倍であった。最終選考会（11月3日）では、書面一次審査を通過した若手研究者（10名うち当日欠席1名）が当 NPO 法人の理事・社員、審査員（一次審査16名、二次審査15名）、オブザーバーに対してプレゼンテーションを行い、会場にいる全員が採点に参加する、昨年と同様の採点により決定した。「先端医療技術の社会実装等に係る研修・人材育成」事業に該当する活動として、受賞者決定会議の間に、参加者のために情報交換会の場を提供した。令和6年度は、賞選考過程の透明化するために、賞選考委員会の開催時間を工夫して懇親会に理事が参加できるようにし、さらに賞選考委員会を審査員全員に拡大した。昨年以上に、異なる世代間の交流を深めた。最終選考委員会は、一般参加を受け入れ、より広い範囲に受益者を広げた。一方で、会場の参加者に対しては、発表内容を口外しないという研究上の守秘義務に関する説明を行い、発表者には特許出願に関わるような内容の発表には注意するよう、守秘義務に関する注意を徹底した。

「科学技術の社会実装等に係るコンサルティング」事業では文部科学省関連事業の再生医療実現拠点ネットワークプログラム事後評価委員を担い、「一般市民に向けた啓発活動」事業としては、若者の大麻乱用を防止する啓発活動として、厚生労働省が行う会議への出席ならびに関連する厚生労働省研究班に参加して研究結果・調査資料などを提供した。Neuro2024（2024年7月24日～27日@福岡）では演題を3題発表した。これらは、「一般市民に向けた啓発活動」事業であるとともに、「科学技術の社会実装等に係るコンサルティング」業務を行っている企業の研究成果の発表であった。このように、企業研究者の若手研究者を教育指導し学会発表を推進することは、「先端医療技術の社会実装等に係る研修・人材育成」に該当する。

「先端医療技術の社会実装等に係るシンクタンク」事業では、厚生医薬基盤・健康・影響研究所の外部評価委員を引き受けた。本事業では昨年に続き日本学術会議・先端医療技術の社会実装ガバナンスの課題検討委員会への情報提供を引き続きおこなっている。

我々が行う企業研究者にたいするコンサルティングは、企業利益のためのコンサルティングではなく、

「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」「科学技術の振興を図る活動」である。

また、「一般市民に向けた啓発活動」については令和6年度はより積極的に活動している。特に、種々の学会年会などの協賛をおこなって、各学会が取り組む一般市民の啓蒙活動を支援した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【2,575】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
科学技術の社会実装等に係るコンサルティング	国立研究開発法人日本医療研究開発機構から依頼され、コンサルティングを行った。	年2回	オンライン会議	3人	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	20人	55
	文部科学省からの依頼で、再生医療実現拠点ネットワークプログラム事後評価委員会に参加した。	年1回	オンライン会議	2人	文部科学省/研究課題関係者	30人	55
	最先端の科学技術の収集を行って、スタートアップ企業のコンサルティングを実施した。	随時	NPO事務所、相手先企業(東京都)、メール	5人	スタートアップ創業者、社員	1-10人	0
	既存企業の社内ベンチャー部門のコンサルティングを行った。	毎月2回	オンライン会議	3人	相手先企業の関係者	10人	200
医学・薬学研究に対する助成・褒賞	小幡賞の研究の助成対象者の募集・ピッチ大会・選考及び優秀者への研究助成の選考方法を賞選考委員会にて議論した。審査員の選別、審査依頼を行った。	年7回程度	オンライン会議	15人	「認知症およびシナプトパチーの基礎と臨床」研究を行っている研究者	100人	315
	IDDI 小幡賞の授与：将来大きなインパクトをもたらす独創的研究を遂行している若手研究者5人(小幡賞)を表彰した。	11月3日	東京大学農学部中島ホール	17人	ファイナリスト9人(うち受賞者5人)他、会場参加者	36人	967
一般市民に向けた啓発活動	米国FDA規則の日本語訳を行った。	通年	NPO事務所	4人	先端医療技術の社会実装を行う人々	0人(公開前のため)	31
	ホームページにて、市民等へ向け情報を配信した。	通年	NPO事務所他	5人	先端医療技術の社会実装を行う人	不特定多数	31
	若者の大麻乱用を防止する啓発活動に関する、厚生労働省研究班に参加して研究結果・調査資料などを提供し、国民に向けての情報発信の準備を行った。	年2回	厚生省・研究班が指定する会議室	2人	厚生省・麻薬監視課職員と班研究者	会議参加者ならびに報告書のHP公開されるため不特定多数	12

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
	第9回 Translational and Regulatory Sciences Symposium 第2回 アカデミアコンソーシアム シンポジウム『BVとVC代表から学ぶ日本のアカデミア発創薬ベンチャー』にて、「ドレブリンの発見から認知症創薬への展開～基礎研究成果の社会実装～」を発表した。	2月22日	WEB公開	3人	アルツハイマー病の治療薬に興味のある研究者及び企業人	不特定多数	31
	同シンポジウムにて、「創薬ベンチャー新米社長の4年間～アカデミアと企業の違い～」を発表した。	2月22日	WEB公開	3人	アルツハイマー病の治療薬に興味のある市民	不特定多数	31
	第13回国際放射線神経生物学会、公開シンポジウム(モーニングセミナー)にて、「記憶の迷路を解く：アルツハイマー病に挑む放射線神経生物学と新たな治療法」を発表した。	3月9日	群馬医療福祉大学本町キャンパス	3人	アルツハイマー病の治療薬に興味のある研究者と市民	50人	32
	Neuro2024にて、「血漿に見られるドレブリン代謝物の月齢依存的変化」を発表した。	7月24日	福岡コンベンションセンター	4人	神経科学領域の研究者	50人	38
	Neuro2024にて、「シクロオレフィン(COP)プレートをを用いたアルツハイマー病モデル神経細胞の確立とドレブリン免疫染色法による薬理試験法の開発」を発表した。	7月24日	福岡コンベンションセンター	4人	神経科学領域の研究者と企業人	60人	38
	Neuro2024にて次のポスター発表を行った。 「シクロオレフィンポリマー製培養プレートに最適化した新規合成基材上で培養した神経細胞突起形成の形態学的解析」	7月25日	福岡コンベンションセンター	4人	神経科学領域の研究者と企業人	Neuro2024の参加者約5,000人	38
	群馬ミライイノベーション会議「シニアのウェルビーイング戦略」にて、「突破口を切り拓く：次世代のアルツハイマー病治療」を発表した。	9月4日	前橋商工会議所会館	3人	群馬県の企業経営者、大学の研究者、一般市民	100人	32
先端医療技術の社会実装等に係るシンクタンク事業	ムーンショット目標9 Jizai2050 プロジェクトにアドバイザーとして参加した。	3月27-28日	リーガロイヤルホテル小倉	3人	ムーンショット目標9に参加している研究者および関係者	20人	60
	JIZAIにて、「シナプス可塑性メカニズム研究から認知症創薬への展開」を発表した。	3月27日	リーガロイヤルホテル小倉	3人	ムーンショット目標9に参加している研究者	15人	60

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
	第14回レギュラトリーサイエンス学会学術大会にて、革新的医療製品の評価技術適格性認定に関して、日本学術学会からの政策提言として発表した。	9月13日	一橋大学 一橋講堂	5人	日本の行政 府および研 究者	不特定多数	60
	日本学術会議・先端医療技術の社会実装ガバナンスの課題検討分科会の政策提言発出に向けて情報を提供した。	随時	オンライ ン会議	5人	日本学術会 議関係者	学術会議会 員の2,210 人および 政策のHP 公開後、不 特定多数	53
	厚生科学審議会等、指定薬物部会長として危険ドラッグの審議をおこない、また審議会に参加して報告を行った。	2-9月	厚生労働 省会議室 (10回)、 オンライン 会議(4 回)	3人	厚生科学審 議会関連者	委員11名 と厚生労働 省職員20 人 議事録公開 部分は不特 定多数	52
先端医療技術の社会実装等に係る研修・人材育成	IDDI 小幡賞における参加者及び審査員の情報交換会を開催した。	11月3日	東京大学 農学部中 島ホール	17人	小幡賞ファ イナリスト と学生と一 般市民	40人	190
その他目的を達成するために必要な事業	日本薬理学会の事務局アドバイザーとしての活動を行った。(2024年5月末日まで)	月4回	オンライ ン会議	2人	薬理学会事 務局員と常 任幹事	10人	27
	第25回応用薬理シンポジウムを協賛した。	9月15-16 日	明治薬科 大学フロ ネシス	3人	一般市民と 学生	100人	54
	第68回日本神経化学学会大会を協賛するための寄附を行った。	9月30日 (会期は 2025年9月 11-13日)	愛知県産 業労働セ ンター	3人	研究者と一 般市民(市 民公開講 座)	3000人	59
	第34回日本循環薬理学会学術集會に寄附を行った。	12月20日	グランシ ップ静岡	3人	研究者と一 般市民(市 民公開講 座)	200人	54

(2) その他の事業

(事業費の総費用【0】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
	該当なし				

第3期（令和6年度） 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人イノベーション創薬研究所
(単位：円)

科	目	金 額	小計・合計
【A】 経 常 収 益			
1 受取会費			339,000
正会員受取会費	110,000		
賛助会員受取会費	229,000		
2 受取寄附金			2,131,000
受取寄附金	2,131,000		
3 受取助成金等		0	0
4 事業収益			1,903,400
科学技術の社会実装等に係るコンサルティング事業収益	1,650,000		
先端医療技術の社会実装等に係るシンクタンク事業収益	253,400		
5 その他の収益			140
受取利息	140		
経 常 収 益 計			4,373,540
【B】 経 常 費 用			
1 事業費			0
(1) 人件費			
(2) その他経費			2,575,431
旅費交通費	323,676		
諸会費	402,899		
通信運搬費	40,167		
消耗品費	14,451		
地代家賃	600,000		
広告宣伝費	12,438		
支払手数料	13,554		
新聞図書費	769		
会議費	116,668		
交際費	85,400		
賃借料	82,400		
支払助成金	500,000		
支払報酬	80,000		
業務委託費	303,009		
事業費計			2,575,431
2 管理費			0
(1) 人件費			
(2) その他経費			551,826
旅費交通費	5,172		
地代家賃	120,000		
支払手数料	4,510		
通信運搬費	26,136		
業務委託費	396,000		
支払利息	8		
管理費計			551,826
経 常 費 用 計			3,127,257
当期経常増減額 【A】－【B】・・・①			1,246,283
【C】 経 常 外 収 益			
		0	
経 常 外 収 益 計			0
【D】 経 常 外 費 用			
		0	
経 常 外 費 用 計			0
当期経常外増減額 【C】－【D】・・・②			0
税引前当期正味財産増減額 ①+②・・・③			1,246,283
法人税、住民税及び事業税・・・④			0
前期繰越正味財産額・・・⑤			813,498
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤			2,059,781

第3期（令和6年度） 貸借対照表

特定非営利活動法人イノベーション創薬研究所
(単位：円)

科	目	金 額	小計・合計
【A】 資 産 の 部			
1	流動資産		
	現金預金	2,032,967	2,115,467
	未収金	82,500	
	流動資産合計・・・①		2,115,467
2	固定資産		
	(1) 有形固定資産		0
	(2) 無形固定資産		0
	(3) 投資その他の資産		0
	固定資産合計・・・②		0
【A】 資 産 合 計 ①+②			2,115,467
【B-1】 負 債 の 部			
1	流動負債		
	未払金	55,686	55,686
	流動負債合計・・・③		55,686
2	固定負債		
		0	0
	固定負債合計・・・④		0
負 債 合 計 ③+④			55,686
【B-2】 正 味 財 産 の 部			
	前期繰越正味財産額	813,498	
	当期正味財産増減額	1,246,283	
正 味 財 産 合 計			2,059,781
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】			2,115,467

第3期（令和6年度） 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人イノベーション創業研究所

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	コンサルティング 事業	助成・褒賞 事業	一般市民 啓発事業	シンクタンク 事業	研修・人材育 成事業	その他の 必要な事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益									
1. 受取会費							339,000		339,000
2. 受取寄附金							2,131,000		2,131,000
3. 受取助成金等							0		0
4. 事業収益	1,650,000			253,400			1,903,400		1,903,400
5. その他収益							0	140	140
経常収益計	1,650,000	0	0	253,400	0	0	4,373,400	140	4,373,540
II 経常費用									
(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費									
旅費交通費	22,990	162,736	57,475	45,980	11,495	23,000	323,676	5,172	328,848
諸会費	129,454		116,723	116,723		40,000	402,899		402,899
通信運搬費	11,687	11,688	16,792				40,167	26,136	66,303
消耗品費		14,451					14,451		14,451
地代家賃	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	600,000	120,000	720,000
広告宣伝費						12,438	12,438		12,438
支払手数料	2,710	2,465	2,710	2,710	249	2,710	13,554	4,510	18,064
新聞図書費	769						769		769
会議費	31,096	25,391	20,060	20,060	4,388	15,673	116,668		116,668
交際費	9,000				76,400		85,400		85,400
賃借料		82,400					82,400		82,400
支払助成金		500,000					500,000		500,000
支払報酬		80,000					80,000		80,000
業務委託費		303,009					303,009	396,000	699,009
支払利息								8	8
その他経費計	307,706	1,282,140	313,760	285,473	192,532	193,821	2,575,431	551,826	3,127,257
経常費用計	307,706	1,282,140	313,760	285,473	192,532	193,821	2,575,431	551,826	3,127,257
当期経常増減額	1,342,294	△ 1,282,140	△ 313,760	△ 32,073	△ 192,532	△ 193,821	1,797,969	△ 551,686	1,246,283

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

該当なし

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

該当なし

5. 固定資産の増減内訳

該当なし

6. 借入金の増減内訳

該当なし

7. 役員及びその近親者との取引の内容

該当なし

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- 事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、地代家賃については使用割合に基づき按分しています。

第3期（令和6年度） 財産目録

特定非営利活動法人イノベーション創薬研究所
(単位：円)

科 目		金 額	小 計	合 計
【A】 資 産 の 部				
1	流動資産			2,115,467
	現金預金		2,032,967	
	手元現金	0		
	みずほ銀行普通預金	1,778,643		
	住信SBIネット銀行	254,324		
	未収金		82,500	
	コンサルティング事業未収金	82,500		
	流動資産合計・・・①			2,115,467
2	固定資産			
	(1) 有形固定資産			0
	(2) 無形固定資産			0
	(3) 投資その他の資産			0
	固定資産合計・・・②			0
【A】 資 産 合 計 ①+②				2,115,467
【B-1】 負 債 の 部				
1	流動負債			
	未払金		55,686	55,686
	業務委託費	55,000		
	旅費交通費	686		
	流動負債合計・・・③			55,686
2	固定負債			
	固定負債合計・・・④		0	0
【B-1】 負 債 合 計 ③+④				55,686
【B-2】 正 味 財 産 合 計 【A】 - 【B-1】				2,059,781

第3期（令和6年度）年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人イノベーション創業研究所

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ☒以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- ☒各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役 名 どちらかに○	(フリガナ)		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)	
		氏 名				
1	○理事・監事	セキノ ユウコ		令和6年1月1日 ～ 令和6年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		關野 祐子		年 月 日		
2	○理事・監事	カノウ シンゴ		令和6年1月1日 ～ 令和6年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		加納 信吾		年 月 日		
3	○理事・監事	シラオ トモアキ		令和6年1月1日 ～ 令和6年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		白尾 智明		年 月 日		
4	○理事・監事	オバタ モモコ		令和6年1月1日 ～ 令和6年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		小幡 桃子		年 月 日		
5	○理事・監事	ハヤシ ユウコ		令和6年1月1日 ～ 令和6年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		林 裕子		年 月 日		
6	理事・○監事	タカハシ ヒロキ		令和6年1月1日 ～ 令和6年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		高橋 弘樹		年 月 日		
7	理事・監事				年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
8	理事・監事				年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
9	理事・監事				年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
10	理事・監事				年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人イノベーション創薬研究所

	氏名	
1	關野 祐子	
2	加納 信吾	
3	白尾 智明	
4	小幡 桃子	
5	林 裕子	
6	高橋 弘樹	
7	光岡 俊成	
8	吉川 武男	
9	今村 一之	
10	小林 哲	
11	西 真弓	
12		